

平成24年度 第2回豊田市スポーツ推進審議会 会議録

【日 時】 平成25年3月15日（金） 午後2時00分～3時50分

【場 所】 豊田市役所 教育委員会議室

【出席者】 (委 員) 小幡 銀伸 ((公財) 豊田市体育協会 会長) 《会 長》
加藤 恵美子 (豊田市スポーツ推進委員協議会 会長) 《副会長》
岩月 富士夫 (一般社団法人 豊田市身障協会 理事)
大橋 則保 (豊田市小中学校長会 会計)
北村 幸子 (豊田市女性スポーツ団体協議会 会長)
黒野 芳子 (豊田市健康づくり協議会 副会長)
澤田 数衛 (豊田市区長会 理事)
手嶋 道雄 (豊田市スポーツ少年団 本部長)
藤原 睦行 (事業所代表 トヨタ自動車(株) 人事部)
(事務局) 笠井 保弘 (教育長) 曾我部 一郎 (スポーツ担当専門監)
坂井 京子 (スポーツ課主幹) 熊谷 明典 (スポーツ課係長)
畔柳 隆二 (スポーツ課係長) 赤川 隼一 (スポーツ課主査)

【傍聴人】 0人

【次 第】 1 委嘱状交付
2 新任委員自己紹介
3 会長あいさつ
4 教育委員会あいさつ
5 議題
(1) 平成24年度スポーツプラン掲載事業の点検・評価について(資料1)
(2) 重点取組項目「子どものスポーツ活動の推進について」(資料2)
6 報告
(1) 第2次豊田市教育行政計画(生涯スポーツ分野)について(資料3)

【議事等の摘要】

■議事

(1) 平成24年度スポーツプラン掲載事業の点検・評価について

事務局：資料に基づき説明(資料1)

平成24年度は「横断的な連携強化によるスポーツ推進」を重点テーマとして、各種事業に取り組んだが、この中でも「スポーツ施設を活かした観光のしくみづくりに向けた連携」及び「企業・大学との連携」に関する取組みについて、ご意見をいただきたい。

委 員：スポーツ合宿の誘致対象は？

事務局：名古屋市内の高校を対象とし、合宿案内を今月発送する予定である。

- 委員：豊田マラソンについては、今回、初めてひまわりネットワークによる生中継を実施したが、今後もひまわりネットワークとの連携を進めてほしい。
- 委員：豊田マラソンの開催会場が豊田スタジアム移ったが、豊田マラソンに代わる運動公園等を活用したイベントを開催してほしい。
- 会長：豊田マラソン大会の実行委員長としての立場で申し上げるが、運動公園では高校野球を始めとする各種大会等を数多く開催しており、充実した活用が図られていると考えているので、ご理解をいただきたい。
- 委員：他市で行われているおもてなし事業をいくつか見てきたが、観光地のおもてなし事業にはかなわない。これらの観光地では、市を挙げた取組みがされており、本市もさらに連携を強化して、取り組んでいく必要があると感じた。
- 事務局：次年度のおもてなし事業の取組みとして、物販あり、競技体験あり、というような各種おもてなしに取り組んでいきたいと考えているので、ぜひご協力をいただきたい。

(2) 重点取組項目「子どものスポーツ活動の推進について」

事務局：資料に基づき説明（資料2）

本市の子どもの体力向上に向けて、「元気っ子プログラム」を策定した。このプログラムに対するご意見、また、プログラムの展開にあたって、それぞれの立場でどのような取組みができるのか等について、ご議論いただきたい。

委員：スポーツ推進委員としてコーディネーショントレーニング教室を開催している。今後も、コーディネーショントレーニング教室の展開に力を入れ、子どもの体力向上につなげていきたい。

委員：子どもの体力向上については、保健体育委員会でも強力に進めていきたいと考えている。また、部活動の特別指導者も増やしていきたいと考えている。

委員：スポーツ少年団としても、少年団自身として体力テストを実施するなど、子どもの体力向上に向けた取組みを実施しようと考えている。また、体を動かすことが楽しいと思えるような機会づくりを少年団の社会貢献事業として実施していきたいと考えている。

委員：ヘルスサポートリーダーの活動機会の拡大に向けて、健康とスポーツの連携ができるとよい。

委員：障がい者のスポーツ活動の推進という視点においても、連携は重要であるので、連携強化を図っていきたい。

会長：元気っ子プログラムの展開にあたり、行政はいかに市民に取り組んでもらうかという視点で、リーダーシップを発揮すべきである。そのためにも、スポーツ関係団体によるプロジェクトチームを発足させ、その成果をこの審議会に諮るという形で、この事業を進めてほしい。

■報告

(1) 第2次豊田市教育行政計画（生涯スポーツ分野）について

事務局：資料に基づき説明（資料3）

意見なし

以上 平成24年度 第2回豊田市スポーツ推進審議会終了